

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	天朝山文化交流の家			所管課	公園管理事務所	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・利用者数等について数値目標を定め管理すること。 ・天朝山公園の他の施設も含めて一体的なPRを行い、利用を促進すること。 ・天朝山公園全体の文化的価値を踏まえて、テーマ・方向性を定めること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H15(2003)	木造	1階建	130.56 m ²
R6収入	R6維持管理費	R6利用者数	(参考) R5利用者数
187 千円	2,304 千円	819 人	908 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	・他課との連携による取組として、生涯学習課（自然の家）事業「水原地区まち歩き」の会場として利用。（利用者12人）名鉄ツアー（商工観光課）でやぐら見学と天朝山散策（2日間 38名） ・市の広報やHP利用により利用促進を図っております。 ・小学校の学習利用として、PRを図っております。	利用者数 823人 使用料 84千円

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	【年間利用目標】 1,500 人 ・コロナ前の利用者数を目標とする。 【利用者増の取組】 ・天朝山の矢倉改修や資料展示をすることとしており、近くに市島春城の生家離れ、水原代官所があり、幕末から明治始めにかけての歴史的な背景を感じられるような取組をすることで魅力の向上を図る。 ・市の広報やHP 利用により利用促進を図る。 【設備更新】 ・予防保全の徹底	・矢倉内改修工事は完了。生涯学習課と協議し、矢倉内の展示資料を年内に整備する。矢倉の活用は来春から行う。
令和6年度	【年間利用目標】 1,500 人 【利用者増の取組】 ・イベントの開催 ・市の広報やHP 利用により利用促進を図る。 ・利用促進ポスターの掲示 【設備更新】 ・予防保全の徹底	【年間利用目標】 1,500 人 【利用者増の取組】 ・他課との連携による取組 ・市の広報やHP 利用により利用促進を図る。 ・利用促進ポスターの掲示 【設備更新】 ・予防保全の徹底
令和7年度	PDCAにより検証し、取組を継続	【年間利用目標】 1,500 人 【利用者増の取組】 ・他課との連携による取組 ・市の広報やHP 利用により利用促進を図る。 ・利用促進ポスターの掲示 【設備更新】 ・予防保全の徹底
令和8年度	PDCAにより検証し、取組を継続	【年間利用目標】 1,500 人 【利用者増の取組】 ・他課との連携による取組 ・市の広報やHP 利用により利用促進を図る。 ・利用促進ポスターの掲示 【設備更新】 ・予防保全の徹底

4 行革意見

令和6年度 10月意見	歴史的背景のある天朝山公園一体として、小学生の学習利用や、市外・県外向けにもPRを図ること。
----------------	--

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	・市の使用料改定動向に合わせ当施設の料金形態の見直し検討。 ・福祉会館廃止に伴う受け皿としての活用。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	小島駐車場（トイレ）			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
京ヶ瀬	現状維持					
R 3 行政改革推進委員会意見						
・見た目も含めて綺麗にした方がよい。 ・トイレ単体で考えるのではなく、市の観光施策全体の中での位置づけを明確化して維持すべき。 ・現状維持で管理を行い、利用者の声を聞きながら改善すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	コンクリート ブロック造	1 階建	7.88 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
23 千円	326 千円	未集計	未集計

2 取組実績

実施時期	実 施 内 容	備 考
令和7年度	適切な維持管理業務（清掃週2回実施）	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	
令和6年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	
令和7年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	
令和8年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	引き続き適切な維持管理業務を実施していきます。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	やまびこ通り（トイレ・東屋）			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	現状維持					
R 3 行政改革推進委員会意見						
- 必要な修繕を行って維持管理すること。 - 訪れる人を歓迎するために必要な整備・維持管理を行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H5(1993)	鉄筋コンクリート造	1 階建	51.37 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
0 千円	482 千円	未集計	未集計

2 取組実績

実施時期	実 施 内 容	備 考
令和7年度	- 適切な維持管理業務（トイレ清掃週2回実施） - やまびこ通り東屋屋根の修繕実施	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和6年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和7年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和8年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	引き続き適切な維持管理業務を実施していきます。 不具合箇所が発見された場合、現場状況を確認し適切に修繕します。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭山麓うらの森			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・目標達成に向けて、他施設との連携、位置づけの明確化、運営体制等の検討を行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H14(2002)	木造	1階建	492.65 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
6,615 千円	10,340 千円	108,221 人	99,283 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	・地域の特産品やお土産の充実に向けた取組 ・芝生広場や花壇の魅力向上へ向けた取組 ・旅館協同組合によるモニュメント設置	利用者数 103,283 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し(修正計画)
令和5年度	利用増の取組（年間利用者 120,000 人を目指す。） ※毎年 10,000 人ずつの増加を目標とする。 ・前年度取組の継続 ・道の駅あがの来場者への施設 PR （観光パンフレットの読み取り QR コードを作成し 来場者へ周知。来場者は新たに設定した目的別の モデルコースをもとに市内観光施設を周遊する。） 【個別施設】 ・芝生広場等を活用したイベント開催 内容：阿賀野 WALK&EAT ・この地域の特産品やお土産の充実 内容：市内地場産工芸品等の未販売者への勧誘 ・温泉客、登山者向けの PR 内容：登山者及び共同浴場利用者の施設利用と駐車場 活用	
令和6年度	利用増の取組（年間利用者 130,000 人を目指す。） ・同上 ・PDCAによる見直し PR効果の検証（来場者数、アンケートなど） 利用者増加に向けた取組内容 地域の施設との連携状況 施設の充実度（品目・対応） ・芝生広場や花壇の魅力向上へ向けた取組	
令和7年度	利用増の取組（年間利用者 140,000 人を目指す。） ・同上	旅館組合によるモニュメント設置
令和8年度	利用増の取組（年間利用者 150,000 人を目指す。） ・同上	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	施設の活用にあたっては、利用者・関係者から意見を聞き、周辺施設と一体的に検討すること。
----------------	---

5 評価、改善策等

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	今年度は食材がない等の理由からWALK&EAT(体験型ウォーキングイベント)が中止となりました。このイベントは多くの来館者が訪れるため、継続できるようにしていきます。 地域の特産品やお土産の充実、温泉客、登山者向けのPRについては、引き続き検討を続けます。 旅館組合が設置したモニュメントを活用し、集客を図ります。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭山麓いこいの森			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	運営改善	近隣施設との連携検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・少年自然の家など他の施設との連携を検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S57(1982)	鉄骨造・木造	1階建	261.13 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
5,769 千円 うち指定管理料1,800 千円	5,769 千円	23,865 人	26,109 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	・10月にクマ出没特別警報が発令され、早めに予約受付を終了した。 ・去年より7,8月の利用者が増えたため、全体の利用者数は増加した。 ・5月24日(土)～25日(日)に長岡地域振興局事業の「サバイバルキャンプ」をいこいの森と少年自然の家を会場として連携して実施しました。 ・遊歩道バリアフリー工事	利用者数 25,465 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	近隣施設との連携検討 ・少年自然の家、五頭自然学校との連携による利用促進 ・五頭山麓の自然を活かした事業の実施 ・バリアフリー対応や、子供の生き物とのふれあい、五頭薬用植物園を活用した実践体験 ※年間利用者 30,000 人を目指す。（令和8年度までに、H27 利用者 40,000 人を目標とする。）	
令和6年度	前年度事業のPDCAにより、更なる魅力向上及び連携を図る。 ・ネットでの口コミを集計し、利用者増加に向けた取組を検討 ・五頭薬用植物園、五頭連峰少年自然の家との連携状況 ・チェックアウト時に施設利用者の声を聴く（施設・環境・対応） ※年間利用者 37,000 人を目指す。	県事業の会場として、子供たちを対象にしたサバイバルキャンプをいこいの森と自然の家で開催。
令和7年度	同上 ※年間利用者 38,000 人を目指す。	・同上 ・遊歩道バリアフリー工事
令和8年度	同上 ※年間利用者 40,000 人を目指す。	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	遊歩道のバリアフリー工事を実施したことにより、これまで利用が難しかった方々にも安心して利用できる環境が整い、来訪者層の拡大につながった。 また、初心者を対象とした新たな企画を検討し、利用者の増加を図る。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	水原代官所			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・学校による利用、各種講座、サービスデイの設定、情報発信など運営改善に向けた様々な手法を検討すること。 ・それらの実行のためには、これまでと違った発想、若者の視点が必要である。 ・管理運営体制について民間活力の活用も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H7(1995)	木造	1階建	498.24 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
538 千円	9,939 千円	2,094 人	1,780 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	施設維持管理業務 ・委託業務(施設内清掃業務、樹木剪定業務 等) ・修繕業務(水原代官所掛軸照明器具修繕) (水原代官所玄関照明修繕) 入館者アンケート実施 施設内管理業務を外部団体に委託検討 ・シルバー人材センターと検討会議 イベントの開催 ・大門開放年2回実施(春、夏)	利用者数 2,044 人 (R7 年度実績)

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組（年間利用者 2,000 人を目指す。） ※毎年 500 人ずつの増加を目標とする。 ・前年度取組の継続 ・道の駅あがの来場者への施設 PR （観光パンフレットの読み取り QR コードを作成し 来場者へ周知。来場者は新たに設定した目的別の モデルコースをもとに市内観光施設を周遊する。） 【個別施設】 ・民間旅行会社による旅行ツアーの実施 ・過去に実施されたイベントの開催機関への営業 ・近隣観光施設との連携強化 （天朝山公園矢倉の改修に併せた PR） 【施設修繕】 ・石畳（敷石）、表門扉の改修	
令和6年度	利用増の取組（年間利用者 2,500 人を目指す。） ・PDCAにより検証し、取組を継続 施設来館者の状況 施設PRについて 来場者アンケートの検証	施設内管理業務を外部団体に委託検討（追加）
令和7年度	利用増の取組（年間利用者 3,000 人を目指す。） ・同上	・花の見ごろに合わせて定期的にイベント開催を検討 ・施設内管理業務を外部団体に委託検討
令和8年度	利用増の取組（年間利用者 3,500 人を目指す。） ・同上	施設内管理業務を外部団体に委託（シルバー人材センター）

4 行革意見

令和6年度 10月意見	市民だけでなく市外・県外からの利用増のためのPRをしていただきたい。 天朝山公園と併せて歴史学習の利用も検討すること。
----------------	--

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	近隣観光施設との連携強化や、瓢湖と代官所をタイアップした取り組み、商工会等との協議会形式でのイベントの取り組み等については、今後も検討を続けます。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	宿泊施設 リズム・ハウス瓢湖			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	運営改善	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・宿泊再開にあたっては、新たにできる「道の駅あがの」や他の施設との連携を検討すること。 ・利用を増やすため、瓢湖という立地条件（観光資源＋環境教育）を活かし、かつ五頭温泉郷と差別化した仕掛けが必要である。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H9(1997)	鉄骨造	2階建	721.71 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
3,683 千円	12,978 千円	8,597 人	8,485 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	・適正な維持管理 ・ワーキングスペースの運営 ・PPP、PFI によるリズムハウス瓢湖を含めた瓢湖全体の管理、運営の検討	利用者数 7,657 人 [内訳] 入 浴 : 4,926 人 貸部屋 : 2,614 人 ワークション : 117 人 (R7 年度実績)

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組（年間利用者 10,000 人を目指す。） ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・ワーキングスペースの運営 ・道の駅来場者へのPR ・宿泊再開の検討 修繕計画の策定 指定管理施設としての検討	
令和6年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・PDCAにより検証し、取組を継続 運営方法の検討 入浴客の推移 ワーキングスペースの活用状況 貸部屋の活用状況 指定管理施設としての検討	
令和7年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・同上	指定管理者の再募集検討
令和8年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・同上	同上

4 行革意見

令和6年度 10月意見	瓢湖とその周辺施設を一体として活用を検討すること。 子育て利用など分野横断的に取り組むこと。
----------------	---

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	認知度向上のため、お知らせ版等で入浴施設や貸部屋の利用者増を目指す。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	宝珠温泉保養センターあかまつ荘			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	用途廃止検討	譲渡・貸館利用検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・現在の利用者の行き場も考慮し、規模・機能の縮小を検討すること。 ・廃止を進める場合、市民に対して市の負担を示すなど、丁寧な説明を行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H4(1992)	木造・鉄骨造	1階建	440.44 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
0 千円	893 千円	0 人	0 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	・物価、燃料費高騰による様子見	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	【当初の運営方針】 ・市民団体からの提案募集 【手段】 ・広報、ホームページ、新潟日報（3月掲載）、自治会回覧等により提案募集の周知 【施設運営】 （提案あり） ・ヒアリング等により提案内容の確認と実効性及び施設運営の可否を判断（提案なし） ・今後の施設の維持管理方法について検討	
令和6年度	令和5年の決定事項により業務を遂行	【運営方針】 第三者委員会の提言書に基づき、民間を含め広く温浴施設としての提案募集 【手段】 ・広報、ホームページ等により提案募集の周知 【施設運営】 （提案あり） ・ヒアリング等により提案内容の確認と実効性及び施設運営の可否を判断（提案なし） ・温浴施設以外での活用提案募集
令和7年度	同上	施設維持管理
令和8年度	同上	温泉以外の施設の有効活用を含めて随時募集、R9.3.31を目途に譲渡または売却を検討

4 行革意見

令和6年度 10月意見	活用提案募集について、概ね妥当と認める。 市で方針を打ち出し、提案・意見を求めていること。
----------------	--

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	
進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	神山ふれあいの家			所管課	福祉支援課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	用途廃止	用途廃止に向けた協議				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・現利用者である地元自治会との協議を早急に行うこと。 ・期限を定め今後の活用方法（廃止・解体含む）についての整理を行うこと。 （第1期期間内という意味ではない。それより短い期間で行う必要がある。）						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S56(1981)	鉄骨造	1階建	81.20 m ²
R6収入	R6維持管理費	R6利用者数	(参考) R5利用者数
0千円	148千円	0人	0人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	施設の維持管理（除草や枝おろし）に努めている。 R6年度に自治会しらとりの会長と協議。 自治会の総会は年に1度であり、ささかみ支所となりのふれあい会館で行っているため、神山ふれあいの家は使っていないとのこと。 今後、施設を使いたい時はふれあい会館を使うとのこと。	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	用途廃止に向け利用者及び地元自治会との協議	
令和6年度	・用途廃止 ・旧ささかみ荘も一体として、土地を含む活用方法の検討	
令和7年度	旧ささかみ荘も一体として、土地を含む活用方法の検討	
令和8年度	旧ささかみ荘も一体として、土地を含む活用方法の検討	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	今後の活用方法の検討について、期限を定めて行うこと。
----------------	----------------------------

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	旧ささかみ荘も含めて、土地の活用方法について、様々な案を検討しているが、具体化には至っていない。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	どれみハウス倉庫（旧白鳥ルーム）			所管課	福祉支援課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持 (貸付)					
R 3 行政改革推進委員会意見						
・福祉事業を運営するために必要な施設であると認められるため、現状維持を妥当とする。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S47(1972)	鉄骨造	2階建	265.50 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
0 千円	0 千円	なし（用途：倉庫）	なし（用途：倉庫）

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	建物の老朽化により屋根等の一部の落下が見られ、施設利用者や近隣の安全確保の観点から、倉庫の解体を予定し、令和8年度に予算計上している旨を使用している2法人に説明している。 ※ 倉庫の解体について、2法人とも了承済 ※ 解体後については、阿賀野市社会福祉協議会は、倉庫の新築予定なし。七穂会は、簡易な倉庫の設置を検討している。	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	貸付団体と譲渡協議	
令和6年度	譲渡の場合：譲渡手続 譲渡しない場合：貸付継続	貸付継続
令和7年度	貸付継続	
令和8年度		

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	現在、倉庫を2法人が利用中であるが、老朽化のため安全確保の観点から令和8年度の解体に向け令和8年度当初予算に計上している。 今後、入札や倉庫内の物品の移動などを含めて、法人とスケジュール等の協議を行う予定。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	福祉会館			所管課	福祉支援課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持		大規模改修の検討			
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・利用者が多いにも関わらず、照明が暗いなどの不具合が多いので、それらの改善を図ること。 ・大規模改修が必要である。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S58(1983)	鉄筋コンクリート造	2階建	1,327.07 m ²
R6収入	R6維持管理費	R6利用者数	(参考) R5利用者数
9,513 千円 指定管理料 8,108 千円	9,380 千円	14,208 人	13,039 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	今後、施設をどうするかについて、9月の定例議会で問題提起し、定期利用者や市民に対して3度説明会を開催した。廃止方針案に基づき、利用団体の移行期間として3年程度存続することとした。 冷却塔ファンモーター取替修繕、キュービクル内高圧機器取替修繕、非常灯取替修繕、ホールの空調機器取替修繕を行った。	利用者数 13,849 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・社会情勢や利用者推移など将来需要見込みを考慮した大規模改修の検討 ・利用者属性の調査 ・類似施設（憩の家、公民館等）への利用者の振り分けの検討	
令和6年度	令和5年度の方針に基づいた取組	
令和7年度	令和5年度の方針に基づいた取組	修正した変更方針に基づく取組
令和8年度	令和5年度の方針に基づいた取組	修正した変更方針に基づく取組

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	今後も議員や定期利用者、市民に丁寧に説明し、市の運営（案）を進めていく。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	水原テニスコート			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・阿賀野バイパス部分開通が好機となることから、市外の利用者を誘客すべき。 その際、他の観光資源と組み合わせることで魅力が向上するので、他の部署との連携を進めること。 ・利用促進を図るうえで、民間活力の活用を検討すべき。 ・期限を定め、早期に取り組むこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H11(1999)	木造	1階建	64.44 m ² (トイレ・更衣室等)
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
97 千円	417 千円	2,070 人	1,520 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	昨年同様に、中学校部活動及び地域クラブへ利用をお願いしました。また、苔が繁茂し使用できないAコートについて、単独での除去が難しいことから業者からの除去を検討します。 また、利用者増に向けたテニスコート利用案を阿賀野市総合型クラブと継続して実施しています。	利用者数 1,753 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組（集客を主とする。） 【指標】 2,600人(令和元年度2,608人) ※コロナ前の利用者数に戻すことを令和5年度の目標とする。 ※令和5年度以降、前年度1割増加を目標とする。 ・阿賀野バイパス利用者への施設PR（フェンスに施設看板取付） ・テニスコート場及び屋内運動場利用者への多用途利用に向けた聞き取り ・市外スポーツ協会へのPRチラシの送付 ・ホームページによる市内外への利用促進	
令和6年度	利用増の取組 ・市内外へのPR継続 ・多用途への施設活用 ・PDCAによる効果検証 民間活用の検討	
令和7年度	利用増の取組 ・PDCAによる効果検証	テニスコートの整備
令和8年度	利用増の取組 ・PDCAによる効果検証	テニスコートの整備（苔除去）

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	利用者数は、令和6年度との比較で317人減少し、15.3ポイントの減少となりました。夏季に高温が続いたため、屋外活動と大会利用が減少したことが要因です。今後も中学部活動、地域クラブへの利用促進を継続するとともに、利用環境の整備（コートの張替え）を検討し、また、阿賀野市総合型クラブと利用者増の取り組み検討を行います。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	城ノ内野球場			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	現状維持	劣化箇所調査	不具合修繕			
R3 行政改革推進委員会意見						
・安全管理をしっかりと行いながら維持していくこと。 ・ナイター設備、バックネット支柱などは重大事故に繋がる恐れがあるので、早急に点検を行うこと。 なお、ナイター設備の廃止を行う場合、利用者や地域住民からの理解を得るよう努めること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S48(1973)	鉄筋コンクリート造 木造	1階建	54.08 m ² (トイレ・倉庫)
R6収入	R6維持管理費	R6利用者数	(参考) R5利用者数
212 千円	707 千円	4,123 人	3,830 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	定期的に巡視を行い、芝や施設に不具合がないか確認を行いました。また、安田体育館の方針変更に伴う改修案により、ナイター設備を廃止する方針になることを定期利用団体に説明するとともに、計画的に団体の調整を行い、夜間利用していた1団体を水原野球場に移動しています。 また、R8年度以降の夜間利用の廃止については、利用団体に説明済みであり、夜間の定期利用団体2団体からは承諾済みで代替え案についても概ね承諾を得ています。	利用者数 2,942 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の把握 ※照明施設の修繕は行わない。 ナイター利用の廃止検討 【方針】水銀灯照明が利用不可となった時（球不足、器具故障など）、または利用団体との調整ができれば、ナイター利用は終了とする。 ・野球場夜間利用者の状況把握 ・利用団体の意向確認の実施	
令和6年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕 利用団体の意向を踏まえた施設利用の実施	
令和7年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕 ・ナイター利用団体との調整
令和8年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕	不具合修繕 ・バックネットの改修工事 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕 ・ナイター利用団体との調整

4 行革意見

令和6年度 10月意見	老朽化施設は、安全性を考慮して期間を定めて廃止等の検討を進めること。
----------------	------------------------------------

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	定期的に安全パトロールを行い、ナイター設備、バックネットも含め施設の点検を行っています。夜間利用に伴う、水銀灯の点灯状況を把握し、照度の確認を行っています。バックネットについては、老朽化が進んでいることから、令和8年度予算で改修します。ナイター設備については、安田体育館の改修方針も踏まえ、令和8年度末で廃止とし、撤去について検討を進めてまいります。城ノ内野球場の夜間利用団体については、利用状況を把握しながら、水原野球場の夜間利用へのシフトについても確認していきます。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	安田B & G海洋センター			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・幼稚園、保育園、認定こども園、小中学校でのプール教育の実態を把握したうえで、利用の促進に努めること。 ・わかりづらい場所にあることから、PRに努めること。 ・利用促進を図るため、安全管理に配慮しつつ指定管理者制度の導入も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S60(1985)	鉄骨造	1階建	125.00 m ² (受付・更衣室部分)
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
162 千円	3,914 千円	4,221 人	2,534 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	利用増の取組 笹岡小学校、京ヶ瀬小学校全校生徒の受入れ カヌー・サップ・水泳教室等の実施及び広報等への掲載によるPR 案内看板の設置（のぼり旗の設置）	利用者数 4,222 人 学校 1,731 人 その他 2,491 人 令和6年度参考 4,221 人 学校 2,094 人 その他 2,127 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組 【指標】 3,000人(令和元年度2,975人) ※コロナ前の利用者数に戻すことを令和5年度の目標とする。 ※令和5年度以降、前年度1割増加を目標とする。 ※ターゲットは、幼児・小学生を中心とし、その他、成人にも施設をPRする。 ・案内（誘導）看板設置 ・キッズ水泳教室の開催 ・一般開放の実施 ・継続的事業の取組 ・小中学校への施設利用チラシの配布 ・広報、ホームページ及びLINEを活用した市民への周知	
令和6年度	利用増の取組 ・継続的事業の取組 ・PDCAによる効果検証	
令和7年度	利用増の取組 ・継続的な事業の取組 ・PDCAによる効果検証	
令和8年度	利用増の取組 ・継続的な事業の取組 ・PDCAによる効果検証	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	令和7年度は、小学校プール事業1学校増となり、神山小学校、笹岡小学校と京ヶ瀬小小学校の全校児童を受け入れました。また、継続して子ども園等の団体の受入れ及び夏休み期間に伴う一般開放等を行い、全体利用者数は4,222人となり、前年度比較では横ばいとなっています。 目標である前年度1割増加（4,643人）を達成することはできませんでしたが、指標であるコロナ前の利用者数を上回っています。PR活動では、生涯学習事業や公民館・体育館施設等でのプールチラシの掲載を行いました。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	安田体育館			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	用途廃止検討	廃止検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・老朽化の状況から廃止もやむを得ないが、市民の納得を得られるきめ細かい廃止計画が必要。 ・水原総合体育館、笹神体育館をはじめ市内体育施設の配置、機能分担等を明確にすること。 ・現在の利用者の振り分けを円滑に行うため、利用者の意向を確認すること。 ・廃止にあたっては、残る施設の機能強化等も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S51(1976)	鉄骨コンクリート造	2階建	2,298.10 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
468 千円	11,763 千円	23,636 人	17,472 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	・安田体育館の今後の方向性について庁内協議 ・廃止検討から改修して維持する方針案に変更 ・議会全員協議会において、方針案の変更を説明 ・市内体育施設の利用状況及び課題整理 ・改修後の在り方の検討	利用者数 21,599 人 [参考] ・水原総合体育館 85,936 人 ・笹神体育館 48,320 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・市内体育施設の利用状況及び課題整理 ・利用団体への意向確認 ・今後の在り方の検討	
令和6年度	今後の在り方方針案の作成	
令和7年度	今後の在り方方針に基づく取組	今後の在り方方針案作成及びその方針に基づく取組
令和8年度	今後の在り方方針に基づく取組	修正した変更方針に基づく取組

4 行革意見

令和6年度 10月意見	利用者の安全性を確保するためにも、施設の在り方について早く方向性を示す必要がある。
----------------	---

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	廃止検討の方針について庁内会議を行い、改修し維持する方針に変更する案を市議会議員全員協議会に説明を行いました。また、安田体育館利用者、城ノ内野球場の定期利用団体に対し、その方針案があることの説明を行いました。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	京ヶ瀬体育館			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
京ヶ瀬	用途廃止検討	廃止検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・老朽化の状況から廃止もやむを得ないが、市民の納得を得られるきめ細かい廃止計画が必要。 ・水原総合体育館、笹神体育館をはじめ市内体育施設の配置、機能分担等を明確にすること。 ・現在の利用者の振り分けを円滑に行うため、利用者の意向を確認すること。 ・廃止にあたっては、残る施設の機能強化等も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	鉄骨コンクリート造	2階建	1,881.01 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
272 千円	13,698 千円	0 人	7,522 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	京ヶ瀬体育館解体工事について、令和7年6月2日から令和7年9月30日までの工期で発注を行い、9月10日に履行されました。 また、京ヶ瀬体育館の廃止に伴い、京ヶ瀬地区に体育施設拠点となっている旧前山小学校体育館の屋根（雨漏り）修繕を行い、利用環境の整備を行いました。	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・市内体育施設の利用状況及び課題整理 ・利用団体への意向確認 ・今後の在り方の検討	令和6年3月31日で閉館
令和6年度	今後の在り方方針案の作成	
令和7年度	今後の在り方方針に基づく取組	京ヶ瀬体育館解体
令和8年度	今後の在り方方針に基づく取組	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	京ヶ瀬体育館の解体が終了し、京ヶ瀬地区の主となる体育館を持つ体育施設は旧前山小学校体育館となることから、老朽化した屋根修繕を行いました。次年度以降も同体育館の照明LED化を行うなど、機能強化を行っていきます。また、土曜日、日曜日に実施している市民への一般開放について、水原総合体育館、笹神体育館、安田体育館、京ヶ瀬小学校体育館の利用方法の改善を行います。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭連峰少年自然の家			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	運営改善	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・利用者等について数値目標を定め、期限を設けて取り組む。目標達成できなければ廃止も検討すること。 ・魅力的な条件を多く持っている施設であることから、他の施設と連携し、五頭連峰の観光や自然体験活動の拠点となるよう取り組むこと。 ・これまでも何度も問題視されてきた施設であり、真剣に改善に取り組むこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	鉄筋コンクリート造	2階建	2,451.98 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
8,072 千円	20,356 千円	8,581 人	7,923 人

2 取組実績

実施時期	実 施 内 容	備 考
令和7年度	R7.12月現在 ・利用団体数 124 団体 ・使用料 5,367,700 円 ・食事等実費 2,776,990 円 ・薪代等 173,230 円 【利用者増加の取組】 ① 主催事業の開催 10 事業 11 事業 ② 社会教育連携（自然の家実施） 4 事業 5 事業 ③ 県自然の家と共催（つながろう！キャンプ）（はつらつ体験塾） 0 事業 2 事業 ④ いこいの森（地域振興局、商工観光課共催）と連携（サバイバルキャンプ） 1 事業 1 事業 ⑤ 個人・ファミリー受入れ事業 9 団体 10 事業 ⑥ 専門学校・大学等 1 団体 4 事業 ⑦ 高校 10 団体 9 事業 ⑧ ポータブルエアコン5台購入（効果は限定的だった） ※負の要素※ ① 全国的にアーバンベアの報道・被害報道が当施設にも影響 ② 猛暑が部屋エアコン未設置ありで申込にも影響 ③ ヤマビルによる活動被害（塩水・塩携帯、服装注意喚起）	R6 実績 123 団体 4,948,800 円 2,901,120 円 197,070 円 利用者数 7,587 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	【経営改善】 【年間利用目標】 10,000人 *コロナ前まで戻すことを直近の目標とし、令和5年度は10,000人を目標とする。（当面、毎年1,000人ずつ増を目標とする。） 【手段】 ①いこいの森との連携 *いこいの森利用者へ自然の家風呂開放検討 ②いこいの森・五頭自然学校との連携 *講師派遣・共催イベント開催の検討 ③受入対象の拡大 *対象は、高校生・大学生・企業等の社会人（部活・サークル・研修等） (Wi-Fi環境を活用した活動の受入 パソコン、タブレット、スマホ持込利用) ④主催事業開催 *社会教育と連携 *自然の家主催 *県少年自然の家との共催 【施設の魅力向上の取組】 ①炊飯場のチップ敷き ②遊歩道砂利敷き整備 ③花木の植樹による環境整備	
令和6年度	・PDCAでの見直し ・利用者増加の取組 ・受入対象の拡大検討 ・施設の魅力向上の取組	【経営改善】 【年間利用目標】 10,000人 *コロナ前まで戻すことを直近の目標とし、当面10,000人を目標とする。（目標クリア後、毎年1,000人ずつ増を目標とする。） 【手段】 ・利用者増加の取組 ⑨ 主催事業の開催→6事業 ⑩ 社会教育連携（自然の家実施）→5事業 ⑪ 県及び国立妙高青少年自然の家と共催（つながろう！キャンプ）（はつらつ体験塾 ⑫ いこいの森（新発田・長岡地域振興局、商工観光課共催）と連携（サバイバルキャンプ） ・受入対象の拡大 ⑬ 個人・ファミリー受入れ事業→10団体 ⑭ 専門学校・大学等→4団体 ⑮ 高校→9団体 ・施設の魅力向上の取組 ① 衛生環境の取り組み一環で談話室・研修室にエアコンを入れ、活動後の休憩や泊る場所として提供 ② 炊飯場のチップ敷き ③ 遊歩道砂利敷き整備 ④ 花木の植樹による環境整備 ⑤ SNSを活用した事業募集や施設PR
令和7年度	・PDCAでの見直し ・経営改善 ① 施設維持管理実費徴収の検討 ・利用者増加の取組 ① 主催事業の開催 6→10事業 ② 社会教育連携（自然の家協力）5→3事業 ③ いこいの森（新発田・長岡地域振興局、商工	

	観光課共催）と連携 （サバイバルキャンプ） ・受入対象の拡大検討 ① 地域開放デイの設定（検討） ② 個人・ファミリー受入れ事業（拡大） ③ 専門学校・大学等受入れ（拡大） ④ 高校受入れ（拡大） ⑤ スポーツ団体（市内体育施設との連携）受入れ ⑥ 文化団体（演劇・吹奏楽団体等）受入れ ・施設の魅力向上の取組 ① SNS 活用で五頭連峰少年自然の家の知名度向上 ② 施設・活動エリアの適切な整備	
令和8年度	同上	同上

4 行革意見

令和6年度 10月意見	発信されている施設の情報量が少ない。利用者増を図るためにも施設情報の発信を強化すること。
----------------	--

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	・自然の家の活動状況を情報発信していく。 ・アーバンベアやイノシシなどの鳥獣被害対策として、実施できる取組みを遂行（境界線周辺の草刈り、見回り（爆竹、金、警戒音パトロール、単独行禁止、鈴携行等） ・今年度同様、主催事業で自然の家活動を啓発 ・市の使用料改定動向に合わせ当施設の料金形態の見直し検討

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	農業総合管理センター			所管課	農林課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	譲渡検討	譲渡交渉				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・実質的に指定管理者である JA の専用施設となっているため、早急に譲渡に関して JA との協議を進めること。 ・補助金に伴う処分制限について整理をすること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H7(1995)	鉄骨造	2 階建	867.18 m ² (該当部分)
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
0 千円 指定管理料なし	262 千円	1,348 人	1,185 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	・指定管理による運営であり、指定管理期間は令和8年3月31日まで。 ・耐用年数は38年、経過年数は30年である。 ・指定管理者である JA に補助金返還義務が生じない無償譲渡を打診した結果、令和9年に受けてもらえる意向が示されたため、無償譲渡に向けて協議を進める。	利用者 956 人 ~~821 人~~

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	譲渡交渉 ・指定管理期間中に譲渡に向けて結論を出す。 ・新潟かがやき農協と協議	
令和6年度	PDCAサイクルによる事業管理	
令和7年度	PDCAサイクルによる事業管理	
令和8年度	協議結果に基づき事業を進める。	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	・指定管理期間が終了するに伴い、指定管理者であるJAに無償譲渡の打診を行った結果、決算の関係上、令和9年に受けたい意向が示された。 ・耐用年数が残っているため、無償譲渡の財産処分に当たっては、県との協議が必要である。 ・そのため、指定管理期間の更新を行い、その後令和8年度の譲渡に向けてJAや県と具体的な協議を進める。
進捗管理 (管財課記入欄)	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	笹神農民研修所			所管課	農林課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	用途廃止	用途廃止に向けた協議				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・地域住民の意見を聞き、支障がないなら処分（解体）すべきである。 ・仮に譲渡の方向で協議するにしても、多額の費用をかけて修繕する必要があるのならば、譲渡しないことも考えられる。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S57(1982)	鉄筋コンクリート造	1階建	395.89 m ²
R6収入	R6維持管理費	R6利用者数	(参考) R5利用者数
3千円 指定管理料なし	3千円	0人	0人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	・指定管理による運営 (指定管理期間：令和8年3月31日まで) ・耐用年数は50年、経過年数は43年である。 ・耐用年数が残っているため、解体する場合には国庫納付義務が生じ、多額の費用がかかる見込み。 ・そのため、今後の活用方法を現在検討中。 ・R7年12月、指定管理者であるJAに無償譲渡の打診を行ったが受けてもらえず、現在、無償貸付に向けて協議を進めている。	利用者数 0人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・みそ加工施設利用者の代替施設を農協が確保した時点で指定管理を終了し用途廃止検討 ・他目的での利用を検討	
令和6年度	同上	
令和7年度	同上	
令和8年度	決定した事項に向けて事業を進める。	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。 財産処分については条件をよく確認すること。
----------------	------------------------------------

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	・指定管理者へ無償譲渡の打診を行ったが、受けた場合に施設の活用方法がない、JAの方針において資産を増やさないようにしている等の理由により、受けてもらえなかった。 ・利用者である味噌加工組合は営利目的であるため、無償貸付に適さないため、有償貸付で協議したところ、利用期間は1月～2月であり、貸付金額が高いことから難色を示したことから、引き続き貸付に向け協議を進めていく。 （有償貸付・解体の場合、耐用年数が残っているため、国庫納付義務が生じるため。）

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	ゆうきセンター			所管課	農林課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	機能集約	機能集約の検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・グリーンアクアセンターと統合する場合、ゆうきセンターの維持経費を削減しなければならない。 ・経費削減という点では、堆肥保管場所としての利用は有効。 ・ゆうきセンターとグリーンアクアセンターそれぞれの施設の役割を整理して市民への説明責任を果たせるよう準備すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H3(1991)	鉄骨造・木造	1階建	2,325.00 m ²
R 6 収入	R 6 維持管理費	R 6 利用者数	(参考) R 5 利用者数
47,465 千円 指定管理料なし	42,940 千円	1,034 人	1,048 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	従来どおり、別々の堆肥製造施設として稼働している。	利用者数 1,019 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・ゆうきセンターの機能（ストック場）を決定し、必要な修繕箇所を確認する。	
令和6年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。	・堆肥製造施設として使い続ける。
令和7年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。 ・グリーンアクアセンターでの受入れ状況が整い次第、ゆうきセンターの堆肥製造を中止する。	・堆肥製造施設として使い続ける。
令和8年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。 ・グリーンアクアセンターでの受入れ状況が整い次第、ゆうきセンターの堆肥製造を中止する。	・堆肥製造施設として使い続ける。

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	施設の緊急修繕を進めながら、グリーンアクアセンターとの機能集約の検討を続けていく。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	分田農村環境改善センター			所管課	農林課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・分田地区の中心となる公共施設であり、社会的な役割が認められる。 ・地元集会所としての役割もあるため地元の負担も検討すべき。 ・収支改善が課題であり、当該地域以外の市民へのPRを行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H4(1992)	鉄骨造	2階建	506.90 m ²
R6収入	R6維持管理費	R6利用者数	(参考) R5利用者数
111 千円	1,041 千円	1,735 人	1,881 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和7年度	広報誌に掲載しPRした。 施設予約システムのチラシを窓口に設置し、施設利用の周知に努めた。	利用人数 1,539 人 ~~1,030~~ 人 システム予約件数0件

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	R2年度 利用件数 99 収入 78 千円 R3年度 利用件数 130 収入 79 千円 R4年度 利用件数 144 収入 82 千円 ○利用者増の取組 （利用件数 150 件、利用者数 2,500 人を目指す。） 新型コロナウイルスによって利用件数が大幅に減少したR2年度から徐々に利用件数は増加しているが、収入は依然として低調なため、広報あがので施設のPRを行い、地域以外の利用者の増加を図る。 ○維持管理費の見直し 維持管理費が現在の利用状況に見合ったものか検証する。（警備委託料、清掃業務委託料の必要性など）	
令和6年度	利用者増の取組 ・PDCAにより検証し、取組を継続	
令和7年度	利用者増の取組 ・PDCAにより検証し、取組を継続	
令和8年度	利用者増の取組 ・PDCAにより検証し、取組を継続	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	警備委託料等の維持管理費が現在の利用状況に見合ったものか検証した結果、当該施設が無人施設であること、火災等に備える必要があること等を考慮し、契約の継続をすることとした。

進捗管理 （管財課記入欄）	
------------------	--